vol.139
2025.2.10

大分工業高等専門学校

明野通信

住所：大分県大分市大字牧1666番地
URL：http://www.oita-ct.ac.jp

/ 目次 /

巻頭言〔校長〕---------- 2
主事室便り ---------- 2
学科通信、卒業おめでとう ------- 4
専攻科通信、修了おめでとう ----- 12
退職者挨拶 ---------- 14
新任教員挨拶 ---------- 14
職員採用一覧 ---------- 14
各種報告 ---------- 15
学生会便り ---------- 16
留学生の声 ---------- 17
寮生会便り ---------- 18
学科別、専攻科進路状況 --------- 19
行事予定 ---------- 20

第37回 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2024（HONDA技研特別賞）
11月17日(日)　両国国技館

第 35 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（競技部門）
10月19日(土)・20日(日)

高専祭　10月26日(土)

体育祭　10月17日(木)

音楽祭　11月４日(月)

巻頭言　「生きる」ということ

校長　坪井　泰士

「動的平衡」

福岡伸一氏が提唱する生命観です。

彼は言います。生命の本質は遺伝子や細胞といった要素にあるのではなく、要素と要素の関係性、それらの「あいだ」で起きる相互作用にこそある、そこに生命が宿っているのだと気づいた、のだと。そして、自分という生き物は「現象」であって、しかもそれは電灯のように明滅しながら、光だけが保たれ続けている、のだと。

私たちは、今、生きています。それは頭と体、あるいは脳と内臓などの組み合わせによる人間として生きているのではなく、それらを構成する分子を絶え間なく更新（福岡氏曰く、１年間でほぼすべての分子が入れ替わるとのこと）しながら、そこに存在するということだと、私は理解しました。分子レベルでは新しいものになっているのに、記憶が保たれるって驚きです。

「I was born.」

吉野弘が綴る詩には、少年とその父の言動と想いが物語のように綴られます。

英語を習い始めて間もない少年は、ある夏の宵を父とともに寺の境内を歩いていて、物憂げにゆったりと歩く身重の女性と行き交います。その時、少年は次のように父に告げます。

― やっぱり　I was born なんだね ―

父は怪訝そうに僕の顔をのぞきこんだ。僕は繰り返した。

― I was born さ。受身形だよ。正しく言うと人間は

生まれさせられるんだ。自分の意志ではないんだね ―

詳細はおくとして、I was born が受身形であること、意識していましたか。主語＋be動詞＋過去分詞、そう受身形なのです。直訳すれば、私は生まれさせられた、となるのです。教壇に立った際、担当する学生にこの詩を紹介し、私たち人間はいつしか生まれ、そして寿命を知らぬままに生きていくのだと話しました。

私たち人間、そして生命はいかにも不思議な存在です。

その不思議の塊である学生の皆さんは、懸命に“今”を生きています。その皆さんをご家族はこのうえなく慈しみ、友達はかけがえのない存在として寄り添ってきました。

この文章が皆さんの目にとまる頃、私には初孫が生まれているでしょう。今は出産予定日を過ぎ、わがことのように心配し祈る想いで綴っています。そんなとき、あらためて次のように思います。

一つ一つの命は、すべて奇跡の塊です。自身の「生」をせいいっぱい楽しみ、家族や友人の「生」を大切にしてくださることを心から願います。

総務主事
鶴（つる）　浩二

本科卒業および専攻科修了の皆様、おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、さぞお慶びのことと存じます。心よりお祝いを申し上げます。

高専で学んだ５年または７年という期間は、長く感じることもあったかと思います。多感な時期であるだけに反発したり、意見が違ってぶつかったり、理解できず気まずくなったり、色々なことがあったことでしょう。同級生は、ライバルでもあり友人でもあります。多くの卒業生・修了生の皆さんは学校に愛着を持ち、卒業後もよく学校を訪ねて、近況を話してくれます。また、友人を大切にして卒業生同士が卒業後も連絡を取り合って、それぞれの進路で刺激し合っています。

私は高専に赴任して、今年で20年になります。その間、何度かクラス担任を経験しました。その中で、真剣に勉強に取り組み、友人と大いに遊び、学校を楽しんでいる学生の姿は、まぶしくうらやましく感じました。また、進路相談やクラス運営などで、教員と学生の距離が近いことも驚きでした。また、学校行事では、夜遅くまで友人を助け、後片付けも率先して行う姿は、新鮮でした。学生の姿の印象は、今でも変わりません。高専卒業・修了後も、好奇心にあふれ、まわりの人にも目配りでき、進んで手伝い・助け合うことを忘れずに、実践していただきたいと思います。皆さんの未来が充実したものとなりますように、心から願っています。

主事室便り

教務主事
松本　佳久

本科卒業生､専攻科修了生の諸君､保護者の皆様､ご卒業･修了おめでとうございます。郷土の誇り、大分高専の卒業・修了生として自信をもって次なる世界、社会へと羽ばたいていって下さい。本校教職員ならびに在校生は貴君らの今後のご活躍を信じ、これからも応援し続けます。

日本の首相交代と解散総選挙、そしてアメリカ大統領選挙という日米２大政治イベントが終わり、我々を取り巻く社会は大きく変わろうとしています。

一方で、少子高齢化が加速化している日本の現状も有り、あらゆる産業で人手不足（高専では敢えて人財不足と表現します）が叫ばれるようになってきました。その主な原因としては、労働人口の減少、都市部への人口集中、求人の需給ギャップがあると言われていますが、就労・産業などの大きな構造変化により、社会全体ないしは職場内での人材のミスマッチを生んでいることも人手不足の要因と考えられます。

このような混沌とした時代に、我々はどうしたらよいのでしょうか？その一つの答えとして、私は新時代のリーダーシップやイノベーションを創出するアントレプレナーシップやキャリアデザインの学習があると思っています。自ら社会課題を見つけ、解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探求したりすることができる知識･能力･態度を身に付けるものであり、起業家を育成するためのビジネスに関する学習とは異なります。

学生諸君が新しい時代の生き方に対応出来るように高専も進化し続けます。

学生主事
大庭　恵一

本科卒業生、専攻科修了生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業・修了おめでとうございます。

今年度の大分高専の学生会行事は、天候やグラウンド工事などの影響で、いつもとは違ったものになりましたね。

体育祭は、第１グラウンド改修工事のため、初の第２グラウンドでの開催となりました。全学生の誘導や荷物の搬送で例年以上の困難がありましたが、体育局長の５Ｅ小出真叶くんのアイデアにより、例年とは少し違った素晴らしい体育祭を行うことができました。

その後行われた高専祭では、雨天のため、第１体育館でのステージイベントとなりましたが、高専祭実行委員長の５Ｅ藤原聖崇くんの臨機応変な対応により、屋内でのイベントを無事成功に導いてくれました。

三大祭の最後を飾る音楽祭は、５年ぶりのホルトホールでの開催となりましたが、400名を超える来場者を迎えて、吹奏楽部、軽音楽部のパフォーマンスを披露することができました。音楽祭実行委員長の５Ｃ庄野佑衣さんが事前の準備から綿密な計画を立ててくれていたおかげだと思います。会場前の書道部、美術部、写真部による展示も大好評でした。来年も11月３日にホルトホールで行いますので、ぜひ見に来てください。

学生の皆さんは、三大祭をはじめとするイベントを通して、多くの仲間との交流を深めることができたのではないでしょうか？

学生時代の仲間との楽しい思い出は一生の宝物となります。そういった仲間は卒業して社会に出た後もどこかでつながっていて、つらいときに助けてくれることもあるでしょう。卒業後の素晴らしい未来を心から祈念しております。

寮務主事
清武　博文

卒業生・専攻科修了生の皆さん、ならびに保護者の皆様方に、心よりお喜び申し上げます。

寮生の卒業生・修了生である34名の皆さん、寮生活をよく頑張りましたね！親元から離れ、中学卒業後の15歳で入寮した皆さんは、この日を迎えるまでに多くの成長を遂げました。入寮当日は大きな不安を抱えていたでしょうが、精神的にも、身体的にも大きくなりました。辛いことや嬉しいことなど色々あったでしょうが、同じ釜の飯を食べた仲間がいて、互いを励まし合い、乗り越えることができたのではないでしょうか。さらには、寂しい思いをしながらも送り出してくれた保護者の方、優しく、時には厳しく指導してくれた寮母さんや指導員さん、毎日三度の食事を世話して頂き、栄養にも体調にも気遣ってくれた食堂の皆さん、朝寝坊を起こし、厳しい指導やコミュニケーションルームで悩み相談をしてくれた寮務主事補の先生方、事務室で様々なことに対応してくれた学生生活係の皆さん、SA勉強会で対応してくれた先輩方と、多くの方々に支えられた寮生活だったことに思いを馳せて下さい。本当にありがたいですね。

これから社会人になる人、大学院に進学する人それぞれの道を歩みますが、大分高専で得た様々な経験を元に技術を深め、練磨していくことと併せて、総合的な視座に立って的確な判断を行える技術者として、社会に貢献されるよう期待しています。

人生は何をするにも健康が大切です。私ぐらいの年齢になると、切実に感じます。皆さん、適度な運動と適切な食事、そして楽しい趣味と休養を忘れずに。

機械工学科 学科通信

自分に気合を入れてみよう

機械工学科長　軽部　周

TVで漫才を見ていたとき、一人が「天才とは１％のひらめきと99%の努力である」と言い、相方が「気合（きあい）も必要だろ！」と返していました。楽しい漫才に笑いながら、激しく同意している自分がいました。気合がなければ、勉強も仕事も進みません。

５年生に目をやると、卒業研究に気合を込めて取り組んでいる学生が多いです。自ら過去の論文を読み、課題解決に向けて悩んでいる５年生を見ると頭が下がります。一方で、授業中に寝ている学生、スマホやTVを時間無制限で見ている学生（軽部含む）、試験をあきらめて再試験での逆転を夢見ている学生などは、気合が足りていない状態。健康でないと気合は入らないので、栄養と睡眠を十分にとって体調を整え、気合を入れ直しましょう。

私は、気合は環境によって作られると考えています。私が大学４年で研究室に配属されたとき、先生方、先輩方の研究に対するパワーに触れることで自分も気合が入りました。今、５年生が卒業研究に熱心に取り組めているのも、本校で気合の入った先生方や友人に触れ、多くの学生の中に気合が作られていった結果ではないでしょうか。自分も気合を入れ直し、皆さんが頑張れる環境づくりに一役買いたいと思います。

「学問に王道なし」です。覚悟を決めて「勉強するぞ」と気合を入れてみて下さい。ものづくりや研究に打ち込んで下さい。やる気がある人ほど多くのことを吸収し成長できますし、何より楽しいです。教員、学生の皆で大分高専を盛り上げて行きましょう。

未来は今日始まる

1M 担任　菊川　裕規

４月４日の入学式からはや一年が経とうとしています。思い描いていた高専生活を送れていますか。2024年の世相を表す漢字は「金」でした。みなさんにとって、今年の１年を漢字で表現すると何でしょうか。過去を振り返ってみることも大切ですが、その教訓を未来へ向けてどう活かすのか、今日一日一日をいかに過ごすかということの方がより大切です。過ぎ去った過去を変えることはできませんが、これからやって来る未来は、日々の行動でいくらでも変えることができます。「未来は今日始まる。明日始まるのではない。」第264代ローマ教皇、ヨハネ・パウロ二世の言葉です。あなたの未来は、今日、どんなふうに過ごすかにかかっています。今日という日は残りの人生の第１日目でもあります。たった１回きりの人生を実りあるものにするために、今日をおろそかにせず、目の前のことに一生懸命取り組みましょう。

４年に向けて

3M担任　坂本　裕紀

３Mでの一年間を過ごし、皆さんはどのような感想を持っていますか？　体育祭や高専祭等での楽しい思い出？　レポートや小テストに追われた思い出？　定期試験に苦しんだり、逆に成績アップに喜んだ思い出？　色々とあるかと思います。３年が終わり、卒業までの道のりは、意外と短く感じられることでしょう。４年になれば専門科目のレベルも上がり、正直、きついと思います。これまでの感覚で過ごすと、躓いてしまうかもしれません。勉学に関しては、気を引き締めて臨んでくれるよう祈っております。勿論、楽しいこともいっぱいあるはずです。楽しむときは目一杯楽しみ、頑張るところは頑張れば、高専生活は充実するに違いありません。そして、進路も本格的に考える時期です。就職か進学か、大学か専攻科か、県内か県外か……悠長に構えず、色んな先生、そして家族とも話をしてみてください。迷った時は、どんどん相談しましょう。

自分の“役割”を知る

2M担任　徳丸　和樹

今年度は球技大会、体育祭、高専祭とイベント“には”強い２Mでしたね。そこで、チームワークについてちょっと考えてみましょう。Belbinの Team role theory というものがあります。チームが成功するには９つの役割分担のバランスが大事という考えです。大きく分けると「思考する」「行動する」「人間関係を円滑にする」３つの役割を担う人がチームにいれば成功するとのこと。さて、機械系の仕事はチームワークが大事なのは言うまでもなく、就活や昇進、転職においてもあなたがどのような役割を担うことができるのかが問われます。各種イベントや個人プロジェクトを通じ、自分や他人の出来ることがなんとなくわかってきたと思います。自分の役割とはなんなのか、来年度は意識して行動してもいいかもしれません。

朝の来ない夜はない

4M担任　中野　壽彦

“It's always darkest before the dawn.”　直訳すると、「夜明け前が一番暗い」、意訳すると本稿のタイトルになることわざがあります。シェイクスピアの悲劇「マクベス」で使われる台詞です。問題に直面しているとき、それを克服する直前が最も苦しいが、諦めなければきっと打破できる、という意味です。明野通信に何を書こうか困っていたら、研究室のＫ君が、最近知った良い言葉ということで教えてくれました。Ｋ君ありがとう。

卒業後の未来に向けて、いよいよ正念場ですね。一年後にはきっと、それぞれの人生の新しいフェーズの朝を迎えているでしょう。連日、企業の方と採用関係の面談をしていますが、高専生に対する期待と評価はものすごく高いです。自信を持ってください。

卒業おめでとう

機械工学科
５M 担任　竹尾　恭平

５年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。時が経つのは早いもので、皆さんの担任になり２年が過ぎ、ついに卒業の時となりました。５年間の高専生活はいかがだったでしょうか。成長できた５年間でしたか？

皆さんが入学した2020年は新型コロナウイルスの影響があり、マスク着用での生活を強いられ、学校での行事もまともに行うことができない状況でした。慣れない環境の中、とても大変な時期だったと思います。

そんな中、私も2020年の９月に大分高専に着任しました。私も緊張しながら１年生の皆さんのクラスに授業に行った時、初々しいみなさんの顔をよく覚えています。それでも少しずつ、色々なことが緩和されていき、マスクなしの生活やコロナ前の学校行事が行われるようになっていきましたね。正直、マスク無しの皆さんの顔が新鮮でした。

この２年間は、私が初めての担任で不慣れなこともあり、皆さんには、迷惑かけたこともたくさんあったと思います。すいませんでした。その分、皆さんに支えられながら、クラス運営できたことに感謝してます。本当に最初の担任がこのクラスで良かったと思っています。就活指導で大変なことも沢山ありましたが…

この２年間、私自身も皆さんと一緒に成長できたかなと思っております。

これからは、それぞれの道へ羽ばたいていきます。この大分高専で過ごした時間に誇りを持って、頑張って欲しいと思います。

そして、また立派な社会人になって大分高専に遊びに来てくれることを待っております。

●卒業生からのメッセージ●

麻生　海斗：意外と早かった５年間でした。
今までありがとう！

有村　虎倫：ズレた間のワルさも、それも君の“タイミング”

井上　　颯：皆のお金管理するからください

今永　依吹：５年間楽しかったです

今村　駿介：５年間ありがとうございました!!

岩本夕里奈：入学してから好きな物とか仲良い人いっぱいになって人生めっちゃ楽しい!!
みんなだいすきー

衛藤　和佐：石の上にも３年。明野台地にも５年。

大賀　一平：皆さんエントリーシートは２月中旬までには取り掛かりましょう

小川　拓実：５年間楽しかったです．お疲れさまでした．

小内　淳平：人生は一度きり！

小野　煌生：卒業後、それぞれの夢が叶う事を祈ってます。
ちなみに新垣結衣と結婚する夢は諦めてません

小野　雅斗：六年間お世話になりました

尾林祐佳子：自分まだ学生やれます！やらせてください！

風戸　杏月：５年間楽しかったです。
一生の宝物をありがとう!! 愛しています!!!

河野　拓美：ブラボォッ!!

工藤　貴史：書きたいことをド＃忘れしました

久保田純大：学年末になると、おぼろげながら浮かんできたんです。「留年」という文字が。

栗本　晃希：素敵な先生方と120人越えのクラスメイトに巡り会えました。大分高専、頑張るぞー！

後藤　有輝：楽しかったです！
皆のこと４年に１度は思い出します！

関　　大輝：いい意味で変な人が多くて楽しかったです！
５年間ありがとうございました！

鷹尾　弥往：高専うぇーい

竹山　柊吾：５年間ありがとうご

立花　太一：５年間ありがとうございました！
楽しかったです!!!!

堤　　雅哉：ブラボォッ!!

徳丸　瑛士：留年したらダメですか？

中島　拓郎：毎年再試追認があってもストレート卒業は可能、バンドは最高

永田　拓海：５年間ありがとう。
遊びの連絡いつでも待ってます！

中野　向瑛：友人や先生方にお世話になりっぱなしの５年間でした。この御恩を忘れずに生きたいです。

中野　哲志：ブラボォッ!!

本田　実侑：お世話になりました！
それぞれの場所で頑張りましょう!!

松浦裕之介：あと２年…

宮ノ内康太：５年経ちました。もう少し人生楽しみます。
さようなら。

山田　一慧：多分一緒に卒業できそうです。
ありがとうございました！

山元　滉正：お互い腐らずにそれぞれの道でそれぞれの夢を叶えて花咲かせていきましょう！
これからもともに!!

山本　未羽：最強になってまたお会いしましょう

山本　勇貴：シャレになってないじゃん

渡辺　和志：在校生の皆さん。車校と就活は早めに終わらせておきましょう。がんばってください。

イルファン：次はお前らのばんだ、マレーシアに来い！

電気電子工学科 学科通信

今年度の就職・進学状況

電気電子工学科長　木本　智幸

明野通信を執筆している2024年12月10日現在、電気電子工学科５年生に対する求人数は817社（839人）です。本年度の電気電子工学科５年生の就職希望者は24名であるため、有効求人倍率は35倍にもなります。高専生は、頭脳だけでなく、手を動かして実践できる能力を持っていると産業界から高く評価されており、それが求人倍率の高さに表れています。本年度は、国策として半導体立国の復活が掲げられ、その目標達成のために、半導体関連企業では初任給が高水準となりました。その結果、半導体関連企業への就職希望者が大幅に増加しました。こうした影響を受け、半導体関連以外の多くの企業でも、ここ数年にないほど初任給が上昇しました。さらに、電気系技術者が不足していることも重なり、高専生の争奪戦が激化しており、この傾向は今後も続くと予想されます。

次に、大学編入学や専攻科進学についてです。進路先一覧をご覧いただくとわかりますが、電気電子工学科では、旧帝大をはじめとする偏差値の高い大学を目指す学生が毎年続いており、チャレンジ精神豊富な学生が多く見受けられます。その結果、早稲田大学からＲ７年度の電気電子工学科５年生に対して、指定校推薦での編入枠を設けるとの連絡をいただきました。有名私立大学が電気電子工学科の学生を受け入れたいとの意思表明をしてくれたことは、非常に喜ばしいことです。大学に進学する学生だけでなく、専攻科に進学する学生も、研究レベルの高い大学院への進学を目指す学生が多く、勉強意欲の高さは進学を希望する学生全体に見られます。

このように、就職・進学いずれにおいても、高専を選択することは大きなメリットとなっています。

これからも楽しむ為に

1E 担任　倉持　凜人

時が経つのは早いもので、１Ｅの皆さんが入学してから１年が経過しようとしています。高専に入る前に皆さんが想像していた高専生活と実際の高専生活との違いはどうでしたか？ 上手くいった点、思うようにいかなかった点などがあったことかと思います。

後期に入ると前期に比べて授業の専門性も増し、勉強に苦労することが増えた学生がいるかもしれません。専門科目･数学･物理は２年生以降にもつながる基礎となる科目ですので、ここで苦手を残さないように取り組んでください。

これからより高専生活を楽しめるかどうかは、問題があれば先生に質問に行く、学生間で教え合いをするなど、今まで以上に自主的に勉強に取り組むことができるかにかかっています。クラス全体で協力して前に進めるように２年生以降も高専生活を楽しんでいきましょう！

加油！

3E担任　森田　昌孝

皆さんが２年生に進級した時、私も初めてクラス担任を持つことになり、右も左もわからない中で多くのことを教えていただきました。そのおかげで、私自身も大きく成長することができました。皆さんと同じ時間を過ごせた事を本当に嬉しく思っています。この間、様々なイベントに皆で協力して取組みましたね。研修旅行、体育祭、高専祭など、どれもクラス一丸となって力を合わせ、他のクラスに負けない素晴らしい経験や成果を収めることができたと思います。

来年度は高学年へと進み、新たなステージが始まります。専門科目が増え、実験や学習量も一層増えるでしょう。しかし、それらを乗り越えることで、皆さんはさらに大きく成長するはずです。どうか級友と力を合わせ、支え合いながら前進していってください。

慣れと緊張

2E担任　山口　貴之

みなさんも２年生となり、高専生活にだいぶ慣れてきた頃かと思います。まもなく３年生を控え、高校であれば最高学年になろうかという時期になりました。色々と話しを聞くと、交友や課外活動など楽しく高専生活を過ごせている人も多いようで何よりです。

反面、学生の本分たる学業が、去年に比べて疎かになってしまった人も多いように見受けられます。素の力が高いために、手の抜きどころを覚えてしまい、結果いつの間にか…という状況にならないか心配しています。勉強と息抜きとで緩急をつけることは大切ですが、ぜひ今一度、入学したときの緊張感と、勉学への熱意を思い出して貰い、今自分自身が何を優先すべきなのかを見つめなおしてみて下さい。学業も含めて高専生活を満喫して貰えれば幸いです。

人にやさしく

4E担任　辻　　繁樹

「コミュニケーション能力」＝「年齢、性別、性格、相性に関係なく、会社の内外の人間としかるべきタイミングで適切な意思疎通がはかれ、円滑に業務を進めることができる」能力を指すという話は何度も言ってきました。この能力には、「伝えるタイミング、話し方や言葉選び、相手がもつ知識量や情報、相手の立場や状況など考慮するべきことがたくさんあり、それらを考慮しつつも情報の伝達、共有を行うことができる」ことも含まれています。つまり、根本として求められているのは「他者へのやさしさ」なのです。その話をそのタイミング、その伝え方、その情報量で報連相する（しない）のは相手へのやさしさからくるものですか？それとも自分の都合からくるものですか？ みなさんには、他者にやさしくできる人間であってもらいたいです。

卒業おめでとう

電気電子工学科
５Ｅ担任　田中　大輔

皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様にも心よりお喜び申し上げます。

５年間の高専生活…大分高専の電気電子工学科が合っていた学生、そうではなかった学生、と様々だったと思いますが、無事に卒業条件をクリアできた自分に自信をもってください。適度に適切に自分を褒めてあげてください。大学や会社に入っても、必ず研究室なり部署なり、どこかに所属します。その中で、自分と合う合わないがあると思います。人間関係や職場環境、地域性の違いなどに苦しむこともあるかと思います。そんなときに、この大分高専で出会った友人に相談してください。このクラスの強みは､｢仲の良さ｣です。強めな表現が飛び交うこともありましたし、常識的にどうかな？という行動をとる学生もちょこちょこいましたが、決して人に対して排他的な雰囲気は作らず、かなりのキャパで許容する雰囲気がありました。卒業しても、お互いに助け合ってください。ここで出会った友人・仲間は本当に一生ものです。今はまだそのことに気づいていないかもしれないですけど、その内、そう感じることがあると思います。

まぁ、今は転職も当たり前の時代になりましたから、我慢しすぎてメンタルがおかしくなる前に動くのも手です！高専に相談に来てもらっても大丈夫です。置かれた場所で咲きなさい、は今の時代には少し合っていないと私は感じます。日本も世界も目まぐるしく変化する時代です。皆さんが、綺麗に咲ける場所に、自分を置いて幸せになってください。心身ともに健康に、高専で培った知識や技術を活用しながら、人生を楽しんでくれたら嬉しいです。

最後に…なかなかうまくクラス運営できないことも多かったと思いますが、皆さんの協力のおかげで大きな問題なく、２年間の担任業務を終えることが出来ました。どうもありがとうございました。改めまして、ご卒業、おめでとうございます！

●卒業生からのメッセージ●

浅野　束颯：陸上部楽しかったはず…
出田　橘平：入学時の出席番号６番 今では２番…
梅田　栞遠：長生きしたいです。
大﨑　裕太：え!?　長岡落ちたのに熊大行けるの!?
小野　　柊：かわいいだけじゃだめですか？？
小野　夢歩：５年間ありがとう！　寮生会長として立派な仕事ができました
加藤　寛幸：豊橋は３週間ガチれば受かる
上條　凛太：TOEIC直前にこんなこと考えさせんな
河村　勇紀：お疲れ様
岐部　友哉：皆さん、ご卒業おめでとうございます
小出　真叶：やっと出所。え、あと２年ある？　ご冗談を。
後藤　彩伽：ありがとうございました。人生何とかなります！
坂本　劉統：最近姪が言葉を覚え始めてとても可愛いです
佐田　侑志：面白いクラスでいっぱい笑えてよかった‼
繁松　隼寿：高専生活５年間、一切記憶にございません。
髙橋　亜蘭：第二種電気工事士＞熊本大学・大分高専専攻科
竹内　透弥：関わってくれた同級生後輩たちみんなありがとう大好き！
長峰　緑音：ハンバーグ食べたい
橋本　　渉：もっと生きたかった
濵田桂太朗：５年間ありがとうございました。でおねがいします。
原　　秋空：遂に我慢が報われ莫大な富を得る
半谷　琢磨：５年間お疲れさまでした。あと２年、、、がんばります。
東保　佑典：５年間、ありがとうございました。
姫野　隆太：５年間あっという間でした！　楽しかったです‼
平山　大智：卒業キャンセル界隈
福田　莞大：５年間お世話になりました！
藤原　聖崇：刑期２年伸びました
古荘　英司：地頭の悪さは努力でまかなえる！
眞砂　諒也：５年間、クソお世話になりましたぁ！
松野　拓己：５年間ありがとうございました。
三浦駿一郎：５年間ありがとうございました。後輩へ、未履修は計画的に
南　潤之介：５年間で20キロ太ったので痩せたいです。
村上　　綜：楽しい５年間を過ごせた！　特にvrchatが楽しかった！
山田　裕太：長い旅のようで色んな人に世話になりました！ ありがとうございました
脇　　英知：そして伝説へ…
渡邉　拓海：５年間ありがとうございました！
シ　オ　ン：３年間お世話になりました。ありがとうございました。

情報工学科 学科通信

卒業にあたってのメッセージ

情報工学科長　プロハースカ ズデネク

ご卒業おめでとうございます。大分高専の情報工学科での学びを通じて、皆さんはプログラミング、ネットワーク、データベースなど、最先端の技術に触れ、論理的な思考力や問題解決能力を養ってきたことと思います。この経験は、これから社会で活躍していく上で、大きな財産となるでしょう。

今、社会は、IT人材を熱心に求めています。AI、IoT、ビッグデータなど、テクノロジーは日進月歩で発展し、私たちの生活を大きく変えようとしています。皆さんの専門知識とスキルは、まさに時代の要請に応えるものと言えるでしょう。

卒業は、学生生活の終わりではなく、むしろ新たなスタートラインです。社会に出ると、学校とは異なる環境で、様々な人と出会い、協力し合いながら仕事を進めていくことになるでしょう。時には壁にぶつかることもあるかもしれませんが、これまで培ってきた知識と経験を活かし、積極的にチャレンジしていくことが大切です。

高専での５年間は、技術を学ぶだけでなく、一生の友人もできたはずです。共に学び、悩み、そして喜びを分かち合った仲間との絆は、かけがえのないものです。社会に出てからも、この絆を大切にし、互いに高め合いながら成長していきましょう。

これから、皆さんは、社会の様々な場所で活躍することになるでしょう。プログラマー、システムエンジニア、ネットワークエンジニアなど、選択肢はたくさんあります。あるいは、起業して、自分自身のアイデアを形にする道を選ぶかもしれません。社会に出てからも、常に新しい技術を学び続けることが重要です。IT業界は特に変化が激しいので、常にアンテナを張って、新しい知識を吸収していく姿勢が求められます。

卒業を迎え、少し寂しい気持ちもあるかもしれません。しかし、この経験は、きっと一生の宝物となるはずです。これまでの学生生活で得たものを胸に、未来に向かって力強く歩み出してください。

卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。そして、これからのご活躍を心から応援しています。

月火水木金土日の繰り返しの果てに

1S 担任　川野　泰崇

時間の感覚というものは本当に不思議だ。１Sの教室で皆と共に過ごしたこの一年間は、あっという間に感じられた。「健康は失って初めてそのありがたさに気づく」とよく言うが、時間もまた同じだ。１Sの担任でいられたことに心から感謝したい。

時間は24時間365日、誰にでも平等に与えられる。生きている限り絶え間なく流れ続けている。そのため時間を失う感覚は日常にはない。一方で，過ぎた時間は再び戻ってこない。時間とは無常なものであり，恐ろしいことに，何もしなくともただただ無情にも流れていく。

月火水木金土日と繰り返される日常の果てに後悔することがないように、むしろ自分がしてきたことに胸を張れるように、１Sの皆には今後も全力で物事に取り組んでほしい。高専２年目を迎える皆の更なる成長を心から期待している。

１年を振り返って

3S担任　牧野　伸義

この１年一緒に過ごしてきましたが、これまでを振り返って、どう思っていますか。私は久しぶりの担任で、十分、楽しませてもらいました。目標だった「笑いのある楽しいクラス」は、年度初めの予想程度には達成できたと思います。

３年生の担任は初めてで、研修旅行の企画から訪問先への交渉、九州管区警察局の授業の交渉などが経験できました。また、Teams などで多く私の考え方などを語ってきました。８月の地震、台風のことや、アクロスでの恐ろしいできごとは別にして、電磁気の学び方や、就職のこととなどを書きました。ここで特別に何か言うことはありません。

多感な時期にみなさんといっしょに過ごせたことが、今後の人生の１ページとなって記憶に残ってもらえればうれしいです。みかんを見たら、思い出してくださいね。

折り返しを前にして

2S担任　山下　航正

教養旅行や三大祭、行事の多い後期でした。充実した日々を過ごせたでしょうか。あるいは、この１年間で何かを得ることができたでしょうか。そしていま、日々の生活で得たものを生かすことができているでしょうか。

何かしら得られたのであれば、次に求められるのは、得られたものを分析し、それを如何様にしていくか考察し、実行していくことです。またその際に重要なのは、プラス要素の伸長も、マイナス要素の改善も、どちらも大切だという認識です。なぜならいずれも、結果的に自身を成長させることに繋がるからです(この辺り、何回か話してきましたね)。

次年度は３学年、高専生活の折り返しです。これまで以上に、より主体的な行動が求められます。皆さんは、可能性のかたまりです。自分を信じて、みんなを信じて。一歩ずつでも確実に、成長してくれることを期待しています。

この１年を振り返って

4S担任　重松　康祐

授業だけでなく、課外活動や資格試験などにも積極的に取り組む皆さんの姿が見られ、努力と成長を強く感じられた一年でした。研修旅行やインターンシップ、そして先輩やOBの方々から就職や社会での経験談を聞く機会を通じて、社会で求められる力や自身の将来像について考えるきっかけになったのではないかと思います。

私が担任となってからの短い間にも、皆さんの確かな成長を実感しています。皆さん自身では気づきにくいかもしれませんが、その成長に自信を持ってください。来年度はいよいよ最終学年です。就職活動や編入試験といった大きな節目が待っていますが、決して一人で抱え込まず、家族や友達、先生に相談しながら、前向きに進んでいきましょう。残りの１年を悔いなく過ごし、目標に向かって一緒に頑張っていきましょう。

卒業おめでとう

情報工学科
５Ｓ担任　井上　優良

朝倉　葉音： なんとか卒業までこぎつけることができて嬉しいです。五年間お世話になりました。
麻生　直晴： 自由な校風が自分に合っていました。ありがとう。
足立　舞： ５年間みんなに助けられて単位が取れました！ありがとう！
礒崎　峻秀： 卒業します。探さないでください。
猪俣　秀真： 色々あった５年間だったけど、とても楽しかったです。今まで本当にありがとう！
岩永　直仁： 賢い生き方を学べた５年間でした。２年間島暮らしです。
上田　百恵： ５年間ありがとうございました！
氏家　弘貴： おれと出会えてアンタの人生、面白くなっただろ？
江藤健士朗： 徳のある男。とくお。みんな５年間ありがとう
衛藤　真一： みんなと戦えてよかった。
衛藤　匠史： わたしは高専生だから授業のことがよくわからなくて、“単位を取る”ために勉強をしてるんだ
その途中で“徳尾研”を知ったんだよ
亀井　大和： ５年間があっという間でした。ロボコンで学び、多くの経験に感謝しています。この文章はAIで生成されました
狩生いろは： 寮食おいしかった～
岸田　航河： FPGAには手を出すな！
工藤　大夢： お世話になりました
江田　周平： おめでとうございます
河野　雄大： 研究研究って言いたくないですよね。でも、劉研は大丈夫。研究は、車両同士のVANET通信。キックボードを使った分かりやすくて楽しい研究。研究室１つで、こんなに変わるものなんです。
後藤　剛志： 皆様と過ごした５年間に感謝の意を込めて。
さよーならまたいつか！
後藤　智顕： 初卒業…ども…　俺みたいなCNNよくわからないで使ってる腐れ野郎、他に、いますかっていねーか、はは　今日のクラスの会話 あの教科やばいとか あの単位ほしい とか ま、それが普通ですわな　かたや俺は電子の砂漠でlossのグラフを見て、呟くんすわ it'a true wolrd．狂ってる？ それ、誉め言葉ね。　好きなモデル ResNet 尊敬する人間 リーナス･トーバルズ（NVIDIAの件はNO）なんつってる間に４時っすよ（笑）あ～あ、卒業研究の辛いとこね、これ
後藤　結女： ５年間ギリギリでいつも生きてきました。唯一ギリギリじゃなかったのは登校時間と出席数です。
坂本　勅乃： みんなの卒業コメント面白すぎて永遠に見れる。
佐藤　皓正： プログラミングという最高のものに出会えて良かったです。５年間ありがとうございました。
佐藤　茂人： ５年間お世話になりました！　しぶとく自由に生きていきます！
進　はるな： いろんなことがあったけど、今は楽しかったって言えます！　ありがとう！
田形　瑠彩： ５年間、本当に大変だったけど楽しかったです。お世話になりました。
武石　翔太： とても充実した５年間でした！ みんなありがとう!!
立山　悠斗： 32→30→31→25→27
大洋　田中： ㊗🎓®2🔜®6🏫👋😊
東本　理史： ５年間でHUNTER×HUNTERは２巻も出版されました
鳥居　虹海： 女子たち五年間ありがとう大好きだよ!!　こまめにくだらないLINE送るから近況報告してね!!　心配だし寂しいから!!　あとゆうちゃん週一で通話しませんか、？
原田　蒼斗： ５年間ありがとうございました
姫野　雄大： お世話になりました、皆卒業おめでとう！
古川　彩桜： 『フォーマンセル』
https://youtu.be/CVTuH8tVShc?si=Ujrw1tEIqQZu7E8D
南　太樹： ご卒業おめでとうございます。出席日数とボマーには気をつけろよ
吉井　勇人： ５年間お世話になりました。
渡辺　弘晃： 生きるハードル下げていこー
メザ ジョハン エデュ マルキ： ３年間ありがとうございました。

●メッセージ●

担任として初めて皆さんと出会った時の緊張感を今でも覚えています。授業を持ったことのないクラスで（しかも初めての担任経験で！）顔と名前も分からずどのように接していけばよいか不安もありました。というよりも正直に話すと不安しかありませんでした。もしかしたら皆さんも同じ気持ちだったかもしれませんね。ですが、寮で関わりのあった人を始め、よく話しかけてくれて次第に慣れていくことができました。

さて、私も高専出身の先輩なので実感を持って言いますが、高専で１年生から５年生までの過ごしてきた時間はとても濃密なものだと思いますし、また、その高専時代に紡いだ縁はかけがえのないものです。卒業後も定期的に集まって、お互いの近況を報告し合ってください。また、大分高専にも時々足を運んで話をしに来てくれると、教員として大変嬉しく思います。

これから社会へと羽ばたく中で、20余年生きてきてまだまだ初めてなこと、大変なことがたくさん起こると思います。時には苦しい思いをしたり、身体が重たい日が続くこともあると思います。しかし、アクティブに取り組んでいけば、ポジティブになれますし、クリエイティブに活躍できるはずです。明けない夜は無いのです。周りを頼って、少しずつ、できることから、着実に、を心がけて行動を起こして前に進んでいってください。

皆さんの今後の活躍を心より期待しています。卒業、本当におめでとう。

都市・環境工学科 学科通信

卒業おめでとうございます！

都市・環境工学科長　東野　誠

５年生の皆さん。卒業、おめでとうございます。長かった高専での勉強を終え、いよいよそれぞれの道に向かって進む時が来ました。皆さんの門出を祝福するとともに、ご父兄の方々にご子息の本校卒業のお祝いを申し上げます。振り返れば、コロナ禍の真っ只中、本校に入学されたのが昨日のことのように思い出されます。５年間、勉強のみならず、課外活動や学校行事等を通して、楽しかったこと、苦労したこと、時には辛かったこと等、いろいろなことがあったかと思います。これら全てが皆さんにとって合せて益となり、今後の人生の糧となることを祈念します。

高専での５年間は、今後の人生の基礎を築く時でもあります。私たちの人生には、いつ、どのような試練が襲って来るか分かりません。家を柔らかい砂の上に建てるのに、それほど労力は要しないかも知れません。柔らかい砂の土地でしたら、簡単に手早く基礎が造られることでしょう。このような家は、嵐が来ればすぐに壊れてしまうかも知れません。一方、時間を掛けて根気よく岩を砕き、大変な作業の上に建てた家は、雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてもびくともしないことでしょう。皆さんの高専での５年間が、そのように固い岩を砕いて人生の基礎を築く期間であったと信じます。

皆さんの将来が、豊かに実を結ぶ充実したものであることを祈念するとともに、今後、益々のご活躍を期待します。

１Ｃの後期を振り返ってみますと…

1C 担任　内田 龍之介

後期はななせダム見学会から始まりました。体育祭では長縄で、高専祭では準備段階から奮闘しました。朝の挨拶が元気であれば嬉しいですが、皆さんは規則を守り、美化コンクール上位となるくらいに掃除をしてくれます。クラスは授業や行事を通じて、良い雰囲気になりつつあります。

政治学が専門なので、選挙イヤーを堪能しました。是非はありますが、SNSが投票行動に多大な影響を及ぼしつつあります。そのような中でも、候補者が政策を思案し、丁寧に有権者に向き合い続けるというスタイルは変わらないでしょう。

選挙は努力しても当選に至らないことがありますが、勉強は基礎と継続が肝要です。各教科では基礎的なことを学修しました。今後も様々に経験し、継続し、学んでください。そうして本格的な研究ができ、社会貢献につながるのです。

初めての担任、しかも授業担当がなく不安でしたが、皆さんの楽しさに助けられました。来年は飛躍を期待します。

こうりキッズのみなさんへ（学年末）

3C担任　名木野 晴暢

令和６年度も、担任・副担任でみなさんを見守ってきました。今年度を終えるにあたり、以下の言葉を贈ります。素晴らしい一年でした！　本当にありがとうございました!!

名木野：みなさんの担任をすることができて、本当によかったです！みなさんの成長する姿を一番近くで見ることができ、同時に自分に足りないものにも気づけました。思い出として、みなさんとのクラスTシャツが欲しかった！（笑）

北　川：入学してから３年が経ちました。クラス間の繋がりがしっかりし、明るく勉強熱心なクラスになったと感じています。４年生になると自身がどの道を進むのか､見えてきます。早めに準備を進め､希望する未来に向けてこれからも頑張ってください！

永　井：３Ｃの皆さんは勉強も遊びも全力で、高専祭ではクラスみんなで協力して取り組んでいる姿が印象的でした。個性豊かな皆さんに会うのを楽しみに私も一年頑張れました。はじめてのクラスが３Ｃでよかった！　またいつでも教員室に遊びに来てね！

あっという間の２年間

2C担任　姫野　季之

早いですね。２年生としての時間も残すところ２週間弱となりました。この１年間を振り返っていかがでしょうか。

２年生に進級し、勉強面ではＣ科に関する専門科目の割合が少しずつ増えてきました。初めて作業着を着用して実験実習に臨んだり、現場見学に行ったりと、周囲と協力しながら取り組む様子が印象的でした。このほか、球技大会や体育祭、高専祭などのイベントでも昨年度の活躍から飛躍し、多くの場面で好成績を収めることが出来ました。

さて、３年生への進級に向けて、最後の頑張りどころです。本日の放課後も教室に残って試験勉強に励んでいる学生がいます。学年が上がるにつれて日々の課題や定期試験の難易度も高くなりますが、みなさんが悔いを残さないよう努力し、暖かい春を迎えることを願っています。

時間感覚とその価値

4C担任　永家　忠司

４年生担任としてこの１年過ごしてきましたが、時間経過の早さについて最近より実感する日々です。時間の心理的な長さが年齢に反比例することを数式で表したジャネーの法則というものがありますが、それによると時間感覚は君たちと私では約2.3倍の違いがあるようです。つまりは私よりも１日にそれだけの価値があるとも言えます。とても羨ましいですが、どのような手段を使ってもその価値を得ることはできません。限られた時間リソースを遊びや勉学など如何に使うかを決定するのは当然ながら自分自身です。４年生の残り１ヶ月余りという時間は高専生活の中でとても重要であると思いますが、皆さんはこの価値のある時間をどのように過ごすでしょうか。振り返った時に後悔することのないように充実した日々を送ってください。

卒業おめでとう

都市・環境工学科
５C 担任　一宮　一夫

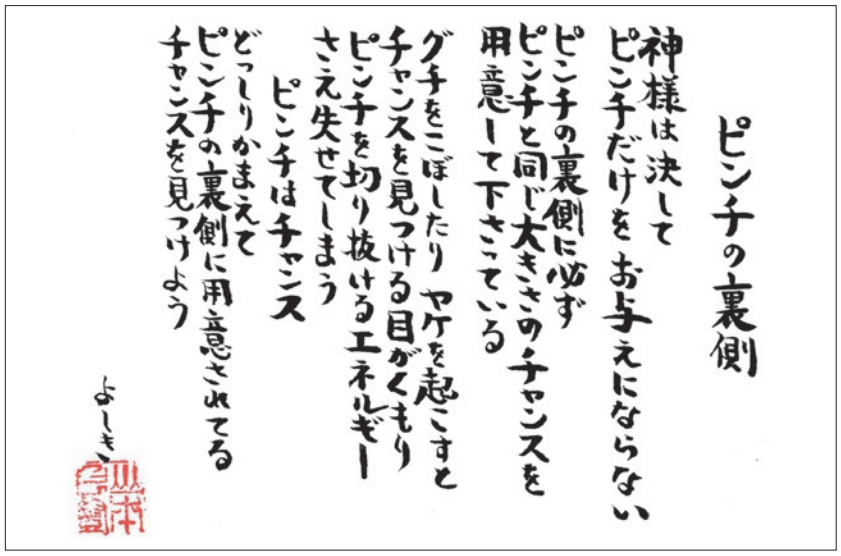
卒業おめでとうございます。４月から新しい生活が始まりますが、５年間をともにした級友は、一生の宝物になることでしょう。私も皆さんと同じ大分高専の卒業生ですが、級友を兄弟のように思っています。学生時代は、その大切さを今ほど実感する機会は少なかったように思いますが、年月が経つにつれ、元気でいるか、仕事や生活はうまくいっているかが気になるようになりました。時には、親身になって相談に乗ってくれることもあります。若かった頃には想像もできなかったほど、級友の存在をありがたく思う時が来るはずです。これからも友達を大切にしてください。

卒業にあたり、皆さんに右の詩をご紹介します。2007年夏の甲子園優勝校、佐賀北高校の部室に飾られていたことがきっかけで、メディアでも話題となった「ピンチの裏側」です。作者の山本よしき様の了解を得て、掲載させていただきました。仕事や生活でピンチに直面した際には、ぜひこの詩を思い出してください。必ず勇気付けられることでしょう。

何よりも、心身ともに健康であることを心よりお祈りします。再会を楽しみにしています。

2023 年 体育祭

４年生の研修旅行では、新東名高速道路の「大規模・無人化施工」現場などを見学しました。



山本よしき詩集「ピンチの裏側」より

● 2024 年 卒業研究 ●

名木野研究室（構造工学）
- 一次せん断変形理論に基づく軸方向傾斜機能材料からなるはりの基本固有振動数の解析（小野凌空）
- 大分県内におけるさび安定化補助処理された耐候性鋼橋の処理被膜およびさび状態の調査（庄野佑衣・鳥居優希）
- 軸方向傾斜機能材料からなる弾性棒の自由縦振動に与える支持条件の影響（三ッ股良紀）

東野研究室（水工学，環境工学）
- 製鉄所転炉スラグ建設材料の河川事業への適用性に関する検討（川井諒真）
- MEAを用いたCO_2分離膜によるIGCC排ガス中のCO_2回収に関する研究（合原武志）
- 気候変動が確率降水量に及ぼす影響（高瀬聖万）
- 気候変動が大分県内の耐候性鋼橋に及ぼす影響に関する考察（野下木乃香）

工藤研究室（地盤工学）
- 短繊維の違いによる短繊維混合路床土の支持力特性の変化（小野紀一）
- 液状化実験における相対密度の設定方法（谷山竣乃亮）
- 人工供試体作製におけるセメンテーションと消石灰の関係（堤　陸翔）
- UAVによる斜面の落石調査における石の判別方法（花本宏将）

姫野研究室（地盤工学）
- 室内配合試験による杵築粘土の改良限界と現場配合量に関する一考察（河野聡太）
- 変動係数の視点に基づく不均質さを伴う改良土の一軸圧縮強さに関する検討（髙山惠瑚）
- JIS規格を伴うセメントを用いた改良土における促進養生法の適用と強度発現特性（中嶋櫂人）
- 含水比を求めるグリセロール法の屈折率測定における外光の影響と対策について（渡邊泰稀）

前研究室（防災工学，建築形態）
- 赤土等流出水の分光特性を利用した濁度推定の精度向上のための補正効果（秋江真帆）
- 農業用ため池におけるラジコンボートを用いた深浅測量による貯水量推定の精度向上（秋枝瑞葵）
- 海洋波に見られるトロコイド曲線を用いた構造形態の生成（川野美南）

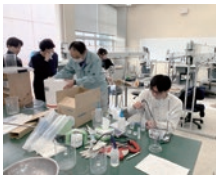
田中研究室（交通工学）
- VRによる天候が異なる場合の歩行者が自転車に対して感じる危機感知度調査（工藤　悠・福島直矢）
- 東京都荒川区の首都直下型地震における最適避難経路の考察（松本崇臣）
- アイトラッキングを用いた自動車運転者の視点運動に関する調査（南　侑里）

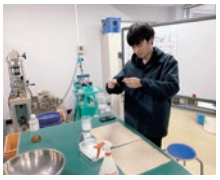
永家研究室（都市計画）
- アセットマネジメントの視点からみた津波避難を考慮した橋梁の補修優先順位の検討（安藤　優）
- ネットワークカーネル密度推定法を用いた日常生活行動に関する施設の空間的分布特性（佐藤文音）
- 土木遺産の保全に向けた点群データを用いた3Dモデルの構築に関する研究（末松理友）
- ウォーカビリティから見た緑地の形態が歩行者に与える影響の評価（西塚愛海）

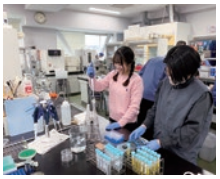
永井研究室（環境工学）
- DHSリアクターを活用した閉鎖型循環陸上養殖の基礎研究（荒木美有）
- 餌料用有用微細藻類培養における窒素源及びその濃度の検討（髙野日彩）

山本研究室（コンクリート工学）
- 異方性を持つASRひび割れが発生したコンクリートの損傷状況について（髙橋宥人）
- 高炉セメントC種を用いたコンクリートの早期強度改善を施した梁部材の力学性能に関する検討（野澤亮冴）
- 高炉セメントC種コンクリートの塩害耐久性に関する実験的検討（林田官光）
- 阿蘇４火砕流堆積物を細骨材としたコンクリートの諸物性の検討（向井鼓太朗）

一宮研究室（コンクリート工学）
- 石炭ガス化発電スラグのAAMsの活性フィラーとしての適用性（網中あお）
- 苛性ソーダを用いないアルカリ溶液で製造したGGBSベースのAAMの基本特性（加藤遼太郎）
- 非溶結凝灰岩のAAMsの活性フィラーとしての適用性（下平遼貴）
- セメント混和による高炉スラグ微粉末ベースのAAMの反応収縮抑制（橋本彩凛）







専攻科通信

テクノカフェ大分2024　第10回 高専・大学 合同研究発表会 開催

令和６年12月17日㈫に大分大学旦野原キャンパスにて「テクノカフェ大分2024 第10回高専・大学合同研究発表会～地域活性化と若手研究者の飛躍を目指して～」が開催されました。

本発表会は、大分産業人クラブ、大分大学理工学部、大分工業高等専門学校、大分市産業活性化プラザの共催で行われ、地場企業様と大学・高専の教員および機械・環境システム工学専攻、電気電子情報工学専攻から学生７名、大分大学から学生12名参加し、２分間のポスター概要講演と１時間のポスター発表を行いました。大分大学・大分高専の各校にそれぞれ最優秀賞１名と優秀賞数名が選ばれ、大分高専の最優秀賞は岡崎真武さん（2AMC）、優秀賞は中村天音さん（2AMC）、富吉涼太さん（1AES）でした。

来年度もより多くの学生の積極的な参加を期待しています。

専攻科外部発表一覧（令和６年１月から令和６年12月までに発表済みのものを掲載）

※テクノカフェ大分2024 第10回大分高専・大分大学合同研究発表会は第10回合同研究発表会と略しています。

機械・環境システム工学専攻１年

●五十川璃音：「GGBSベースのAAMの反応収縮抑制材料としての吸水遅延型SAPの有効性」土木学会全国大会 令和６年９月　●永樂一稀：「サイン配置計画に基づくマルチエージェントシステムによる避難誘導シミュレーション」日本建築学会大会 令和６年８月　●大塚颯太：「粉体の流動性や付着性に及ぼす粒子径や粒子形状の影響」日本混相流学会混相流シンポジウム 令和６年９月　●鹿子木蒼空：「加圧流動化条件下での粉体流動に及ぼす粉体特性の影響」日本混相流学会混相流シンポジウム 令和６年９月　●川野太我：「旋削加工における切削速度と工具振動の関係」日本機械学会九州支部卒業研究発表講演会 令和６年３月　●佐藤匠悟：「５列に円形配列された複数噴流の実験と数値解析による流れ場の比較」可視化情報シンポジウム 令和６年７月　●高橋晴希：「模擬実験装置による成層圏気球ゴンドラ姿勢制御系の実証評価」日本機械学会九州支部卒業研究発表講演会 令和６年３月　●竹尾紅太郎：「地震時における斜面崩壊および橋梁被害を考慮した津波避難シミュレーション」土木学会西部支部 令和６年３月　●藤澤孝吉：「バイアス角運動量を有する懸垂系のダイナミクスの解析」日本機械学会九州支部卒業研究発表講演会 令和６年３月【優秀講演賞】

電気電子情報工学専攻１年

●安部紳一郎：「ローダミン色素を用いた分散型電界発光素子のEL特性評価」Imaging Conference JAPAN 2024 Fall Meeting 令和６年11月　●大石健太：「光渦励起LPRによって非対称構造に誘起される光圧トルク」第20回プラズモニクスシンポジウム 令和６年６月　●岡直輝：「VRを活用した苦手な食品克服を目指すシステムの検討」電子情報通信学会九州支部2024年度32回学生会講演会 令和６年９月　●河村健弘：「手指関節ベクトルとDTWを用いた手話動作の類似検索」第10回合同発表会 令和６年12月　●富吉涼太：「AIと弾性波によるコンクリート構造物の非破壊検査」第10回合同発表会 令和６年12月【優秀賞】　●飛田祐聖：「自律的に統廃合を繰り返す進化計算アルゴリズムの開発と任意の枠における多角形詰込み問題への応用」第26回日本知能情報ファジィ学会九州支部学術講演会 令和６年12月

機械・環境システム工学専攻２年

●安部萌：「軸方向傾斜機能材料からなる両端自由弾性棒の自由縦振動解析」第11回KABSEシンポジウム論文概要集 令和５年12月，「両端自由な線状の軸方向傾斜機能材料の自由縦振動に与える横方向慣性の影響」土木学会西部支部 令和６年３月　●伊東竜哉：「アルカリ活性材料のフィラーへの石炭ガス化スラグ微粉末の適用性実験」土木学会全国大会 令和６年９月【優秀講演者賞】　●伊藤陸斗：「街路空間におけるバリアフリー化の推進を目的とした点群データの構築と活用」土木学会西部支部 令和６年３月　●岡崎真武：「農業用ため池の水位観測のためのレーザー式小型水位計の性能評価」第10回合同発表会 令和６年12月【最優秀賞】　●岡林大和：「多孔質チタンの表面形体制御とその生体適合性の評価」バイオマテリアル学会 令和６年10月　●加藤直行：「加圧流動化粉体輸送に及ぼす粉体特性の影響」混相流シンポジウム2024 令和６年９月　●佐々木大空：「引張試験における試験機治具の作製とCFRP試験片の高温時の疲労評価」第10回合同発表会 令和６年12月　●添田海斗：「ビジュアルフィードバックを使った小型ロボットアームの高精度制御」精密工学会 令和６年９月　●髙橋圭斗：「廃棄物を原料としたクリンカー生成の試み」土木学会西部支部 令和６年３月　●堤大輝：「SHPB法を用いたCFRPの動的変形挙動」International Workshop on Advanced Experimental Mechanics for Young Resarchers 2024 令和６年11月，「SHPB法を用いたCFRPの動的変形挙動」第10回合同発表会 令和６年12月　●寺田圭吾：「高性能集塵機の性能評価に関する研究」混相流シンポジウム2024 令和６年９月　●中村天音：「自動車運転頻度と運転者の視点運動に関する調査」第10回合同発表会 令和６年12月【優秀賞】　●山野雄貴：「Type304ステンレス鋼上のAlCrNコーティングの高温長時間酸化後の構造解析」第34回日本MRS年次大会 令和６年12月，「SUS上に成膜したAlCrNコーティングの高温長時間酸化後の構造解析」第10回合同発表会 令和６年12月　●吉岡壮：「高炉セメントC種における早期強度改善のための養生条件について」土木学会西部支部 令和６年３月　●吉田泰乃亮：「セメント安定処理土の供試体作製時における湿潤密度と含水比が強度発現に及ぼす影響」土木学会西部支部 令和６年３月

電気電子情報工学専攻２年

●安藤拓翔：「FPGA Implementation of a DPU-Based Facial Expression Recognition System」The 25th Workshop on Synthesis and System Integration of Mixed Information technologies 令和６年３月，「FPGAにおけるDPUを用いた表情認識システムの実装」情報処理学会第249回システム・アーキテクチャ研究発表会 令和６年６月，「エッジデバイス上におけるリアルタイム小ねぎ分岐部位置検出」農業情報研究 33(2) 令和６年７月，「小ねぎ調製位置検出のためのインスタンスセグメンテーション」2024年度（第32回）電子情報通信学会九州支部学生会講演会 令和６年９月，「Facial Expression Recognition System Using DNN Accelerator with Multi-threading on FPGA」2024 Twelfth International Symposium on Computing and Networking Workshops 令和６年11月　●岩永悠馬：「Person Re-identification System by Selecting Appropriate Trained Model」IEEE Region 10 Conference 2024 令和６年12月　●岩本拓己：「点群鳥観図を用いたDNNによる油圧ショベル走行時の転倒予測」AI・データサイエンス論文集 5(1) 令和６年，「不整地走行時におけるDNNによる遠隔操縦油圧ショベルの転倒予測」第32回電子情報通信学会九州支部 学生講演会 令和６年９月　●髙木皐成：「姿勢推定を用いた画像分類手法によるデータセットの作成と仮想試着への適用」日本知能情報ファジィ学会九州支部夏季ワークショップ 令和６年８月【学生優秀ポスター発表賞】　●田尻隼人：「Efficacy of Pulsed Electric Fields in Poultry Farm Sanitation」ISPlasma 2025/IC-PLANTS2025 令和７年３月　●戸田海翔：「Ru2+錯体による分散型ELの安定白色発光の実現」2024年画像関連学会連合会第10回合同秋季大会 令和６年11月　●野尻琢真：「SATのAt-Most-K制約におけるFractional Encodingの構造の探究」2024年度（第32回）電子情報通信学会九州支部学生会講演会 令和６年９月　●望月龍一：「基本直観条件論理のシーケント計算による証明体系の構築」2024年度（第32回）電子情報通信学会九州支部学生会講演会 令和６年９月　●森下詠心：「動く錯視による重量感の提示」2024年度（第32回）電子情報通信学会九州支部学生会講演会 令和６年９月【学生会講演奨励賞】

専攻科修了おめでとう

専攻科長
本田　久平

専攻科修了、おめでとうございます。

今回、九州大学工学部・九州沖縄９高専連携プログラムの一期生２名も修了することになります。一緒に修了を祝いたいと思います。さて、皆さんは本科から続く７年間の中で、学力や研究力などを身につけ、仲間とともに実験や課題解決活動を通して立派に成長しました。専攻科を修了し今春からはそれぞれ違った進路を歩んでいきます。しかし修了したからといって、学びが終わりというわけではありません。学校で学んだものがそのまま社会で通用するとは限りません。今後、学生生活では経験しなかった状況や新しい技術を扱う状況も出てくるかと思います。そのような状況に上手く対応するためにも、進路先においても、技術者として学び続ける姿勢を忘れずにいてください。また仕事においても私生活においても新しいことに挑戦し豊かな人生を送ってください。皆さんのご活躍を期待しております。

機械・環境システム工学専攻主任
山本　大介

専攻科の皆さん、修了おめでとうございます。振り返ると中学卒業後から成人後までの人生で最も多感な７年間を大分高専で過ごしたことになりますね。修了後は就職する人、さらに進学する人と進路はそれぞれですが、これまで大分高専で共に過ごしてきた仲間との絆は末永く大切にしてもらいたいと思います。きっと将来、大切な宝となるはずです。さて、皆様はこの７年間で様々な一般教養・専門的なことを学び、大分高専を旅立ち、社会の荒波に飛び込もうとしています。一方で世間の変化はとても早いです。最新技術を学んできた皆様ですが、30年、40年と働くうちに新しいものも古くなり、さらに新しいものが世に出てくるでしょう。だからこそ、これからも、これまで養ってきた本質を見抜く力や応用力を駆使して、新しいことをどんどん吸収しながら、時代の最先端を行く技術者として活躍していただきたいと思います。皆様の今後のご活躍を期待します。

電気電子情報工学専攻主任
西村　俊二

専攻科修了おめでとうございます。本科から数えると７年間という、長いようであっという間だった日々が、一区切りを迎えることになります。振り返れば、この期間は皆さんにとって、学びや挑戦の連続であり、同時に成長と絆を深める貴重な時間だったのではないでしょうか。知識を深めるだけでなく、さまざまな課題に向き合い、試行錯誤を重ねて乗り越えた経験が、皆さんを大きく成長させたことと思います。

この高専本科と専攻科での日々は、単なる「学生生活」にとどまらず、これからの人生を築くうえでの大きな財産と捉えて欲しいと思います。学び、悩み、喜びを分かち合ったその瞬間一つひとつが、皆さんのこれからの道を力強く支えてくれることでしょう。

今後の進路には、新しい挑戦やこれまでにない責任が待っているかもしれません。しかし、高専で培った知識や経験は、どのような困難にも立ち向かうための確かな力となるはずです。これからも夢を持ち続け、誇りと自信を胸に、力強く歩んでください。皆さんの輝かしい未来を心よりお祈りしています。

特別研究テーマ　一覧

【機械・環境システム工学専攻(2AMC)】

安部 萌：軸方向傾斜機能材料からなる弾性棒の自由縦振動の解明　**伊東 竜哉：**石炭ガス化発電化で発生するスラグのアルカリ活性材料のフィラーへの適用性　**伊藤 陸斗：**シェアサイクルにおける走行経路とサイクルポートの設置環境の分析　**岡崎 真武：**農業用ため池の水位観測のためのレーザー式小型水位計の性能評価　**岡林 大和：**振動切削を用いた多孔質材の切削特性とその加工応用に関する研究　**加藤 孝介：**バイアスモーメンタム方式による懸垂系の振動制御　**加藤 直行：**加圧流動化を用いた粉体の供給及び輸送特性の研究　**佐々木 大空：**引張試験における試験機治具の作製とCFRP試験片の高温時の疲労評価　**佐藤 玲：**Koch曲線に基づくフラクタル幾何学的形状をした立体骨組の生成　**添田 海斗：**AIステレオカメラによるロボットアームの高精度ビジュアルフィードバック制御システムの開発　**髙橋 圭斗：**廃棄物を原料としたクリンカー生成の試み　**堤 大輝：**CFRPの動的変形挙動に与える吸水性の影響　**寺田 圭吾：**高性能集塵機の性能評価に関する研究　**中 悠大：**気候変動が我が国の降水と河川流量との関係に及ぼす影響　**中村 天音：**自動車運転頻度と運転者の視点運動に関する調査　**長谷川 陽仁：**バネ要素を付加したバウンシングボール系の挙動解析　**山野 雄貴：**アークイオンプレーティング法で形成したAlCrN被膜の密着層や積層構造の解明　**吉岡 壮：**高炉セメントC種における早期強度改善のための養生条件について　**吉田 泰乃亮：**セメント安定処理土の改良限界を起点とした強度発現特性に関する研究　**渡邉 拓真：**弾性支持工具による自励振動切削のメカニズムの検討

【電気電子情報工学専攻(2AES)】

安藤 拓翔：DPUを用いたマルチタスクDNN表情認識システムのFPGA実装　**岩永 悠馬：**学習済みモデルを選択するカメラ環境に依存しない人物再同定システム　**岩本 拓己：**DNNを用いた遠隔操縦油圧ショベルの転倒防止システム　**髙木 皐成：**姿勢推定を用いた画像分類手法によるデータセットの作成と仮想試着への適用　**大川内 健太：**(九大連携)光導波路を用いたキャビティリングダウンシステムにおける高感度化に向けた検討　**財前 昌平：**(九大連携) PCB埋込型パワーモジュールの熱抵抗及び熱応力解析　**田尻 隼人：**養鶏場における集塵・殺菌のための高電圧パルス技術の構築　**戸田 海翔：**Ru2+錯体を用いた分散型ELの光電気特性評価　**野尻 琢真：**SATのAt-Most-K制約におけるFractional Encodingの構造の探究　**望月 龍一：**基本直観条件論理のシーケント計算による証明体系の構築　**森下 詠心：**動く錯視による重量感の提示

退職者挨拶

一般科文系

川内谷 一志

私は北海道生まれです。18歳まで過ごしてその後４年間茨城で大学生活をし、卒業後そのままフランスに柔道指導者として渡仏しました。フランスで１年間指導し、その後14年間ベルギー柔道連盟で指導しました。38歳で帰国し、26年間大分高専にお世話になりました。何の縁もゆかりもない大分、どうして？ と今でも不思議でなりません。ただ、私の人生で一番長く住んだ場所です。生まれ故郷の北海道と同じくらい愛着があります。大好きです、大分！大分高専の退職される方は30年間とか、長い方は40年間努められています。私は26年間ですがとても充実した教員生活を送ることが出来ました。これも教職員の皆様や、保護者、優しい学生たちのお陰だと思っています。38歳まで日本で働いた経験がなく、ハラハラドキドキでしたが学生たちのやさしさで乗り越えられました。26年間で５クラスを担任しました。最初のクラス（３C）。５月の球技大会では総合優勝（40人で焼き肉屋へ!!）その他の行事、高専祭、体育祭、音楽祭、すべてのクラスに楽しい思い出でいっぱいです。

私の大分高専の半分は学生主事室です。そこで出会えた学生会には感動しました。私が経験した高校の生徒会は教員の指導が多かったのですが、４，５年生中心の大分高専学生会は全く違いました。ほとんどが彼らのアイディア、指導の下行事が行われていました。これって教員の仕事？って思えるところも学生たちが行いました。感動でしかありません!! クラブ顧問、もちろん「柔道部」!! 今思うと最初のころは、世界選手権やオリンピックの指導経験のある私ですから、かなり厳しい練習をさせたと思います。それでも文句も言わないで、一生懸命に練習してくれました。そしてしっかり成績を残してくれました。九州大会での団体戦や個人戦での優勝はもちろん、全国大会での入賞など沢山の感動をもらいました。

本当に充実した幸せな教員生活26年でした。ありがとうございました。

新任教員挨拶

電気電子工学科

大山　哲平

11月から電気電子工学科の講師として着任しました大山です。私は本校を卒業後、京都大学の３年次に編入学し、修士課程終了後、当時の富士通研究所に入社しました。その後富士通本体への転籍もありつつも一貫して無線通信に関する研究開発業務に携わっておりましたが、縁あってこの度母校の教員として戻ることになりました。本校卒業後およそ23年ぶりの母校ですが、さすがに大きく様変わりしている事が多く「不要な先輩風」を吹かすのは止めておこうなどと感じているところです。

私はこれまで無線通信、特に携帯電話に関する技術をテーマにしてきましたので、本校でも継続していきたいと考えておりますが、加えて民間企業での経験やノウハウを活かした授業や研究指導が出来ればとは思っています。

さて多少生々しいお話になりますが、教員への転身を決めた理由をお話します。前職は完全リモートワーク、高い給与、年数回の海外出張と申し分の無い環境でした。ただ私は学生の時から研究室を持った教員に憧れがありつつも、若干不本意な経緯でその道を諦めて就職しましたので、教員という仕事に対する憧れが喉にかかった小骨のごとくずっと残り続けておりました。つまり私は「小骨を取りたかったから」ここに居るというわけです。

お前の小骨など知るかとお叱りを受けそうですが、精一杯働きますのでよろしくお願いします。

職員採用一覧

氏　　名	所属・職名	採 用 日
久豊 孝世	学生課教育支援係員	令和６年10月15日
森山 智之	技術補佐員（機械工学科）	令和６年11月１日
江田 喜好	技術補佐員（電気電子工学科）	令和６年11月１日
山田 祐輔	技術補佐員（電気電子工学科）	令和６年11月１日
新家　　聡	事務補佐員（学生課教育支援係）	令和６年12月１日

各種報告

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト

今年のルールは、複数台のロボットを発射し、またその発射されたロボットがボールや箱のオブジェクトを持って帰る「ロボたちの帰還」という高専ロボコン史上最難関ともされるルールです。

Ａチーム「翡翠」は射出したロボットがボールや箱を射出で送り返すという編成で挑みました。予選１試合目は高得点を出したものの、試合時間ギリギリでそれを上回る得点を出した八代Ａにあと一歩のところで敗退してしまいました。２試合目は１試合目の不備を修正し、安定的な動きを見せ、沖縄Ａに勝利することができました。

Ｂチーム「軌冠」は射出したロボットがフィールドを走ってオブジェクトを回収し、橋をかけて帰還するという戦略で挑みました。残念ながら予選１試合目はロボットの射出が誤動作を起こし、得点することができませんでしたが、続く２試合目では原因を取り除いてすべてのロボットの射出を披露し着地点を得て久留米Ｂに勝利することができました。

Ａ、Ｂ両チームともに予選１試合目で敗退したので決勝トーナメントに進出することはできませんでしたが、ロボットたちを安定的に動かして高い得点を獲得したＡチームが技術賞を受賞するとともに、推薦枠で全国大会への出場を果たすことができました。

全国大会ではさらにブラッシュアップを重ねて挑みましたが、高得点を狙えるロボットの着地がうまくいかず得点が伸び悩んでしまい、強豪香川詫間の得点に届かず初戦敗退となってしまいました。しかしながら、ボールを近距離と遠距離の両方から射出する能力が評価され、HONDA技研特別賞を受賞することができました。

学生たちは、全国大会出場という重たいプレッシャーを受けながらもしっかり頑張って取り組んできたと思います。次年度を見据えてオフシーズンでのチームの強化を図ってまいります。ご支援、応援いただいた皆様に感謝申し上げます。

【地区大会出場メンバー・ピット】

Ａチームメンバー

平川 晴己（4S）、佐川 俊輔（4E）、藤原 陸斗（2M）

Ａチームピット

加藤 寛幸（5E）、首藤 優士（4M）、隅 夏乃香（3M）、
矢野 敢一（3E）、藤原 研人（2M）

Ｂチームメンバー

若林　涼（4M）、橋山 青葉（3E）、岩田 和馬（2M）

Ｂチームピット

亀井 大和（5S）、今村 汰星（4E）、山本 駿輔（4M）、
生田 一真（2M）、増野 滉人（2M）

全国高等専門学校プログラミングコンテスト2024

電子計算機部は10/19㈯～20㈰に奈良市で開催された第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（本選）の競技部門に出場しました。

今年の競技は多数のピースから構成される画像に対して指定された抜き型を適用して「型抜き」を行うことにより、予め与えられた正解画像を「修復」するパズルゲームです。正解画像を修復できた場合は、型抜きの回数がより少ないチームが勝ちとなります。

本校チームは初日の予行演習で回答を正しく送信できない不備が発覚したため、その場でプログラムを修正して午後の１回戦に挑みました。その結果回答を送信することはできるようになりましたが正解画像には到達することができず、グループ９チーム中の５位となり、２回戦に進出できる４位以内には惜しくも入ることができませんでした。

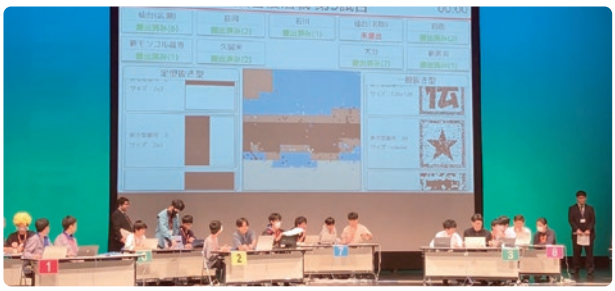
その晩もプログラムを修正して２日目の敗者復活戦でも健闘しましたが、やはり正解画像に到達することができずグループ９チーム中の５位となり、ここで敗退が決定しました。

当初の目論見の通りにプログラムが動作せず悔しい結果となりましたが、今年のメンバーは来年度以降に向けて良い経験になったと思います。

ご支援をいただいた皆様に感謝申し上げます。

【出場メンバー】

引田鴻志（3S）、染矢雅尊（2S）、村井春陽（2S）



各種大会結果報告

令和６年度大分支部秋季卓球競技大会

サイクルショップコダマ大洲アリーナ　10月６日㈰

【男子シングルス】第３位　古賀 伊緒莉（2S）

統計データ分析コンペティション2024

優秀賞　受賞、学校表彰　受賞

受賞論文「福祉支援を通じた過疎化対策の提案」

黒木 喬士郎（3S）、井上 和幸（3S）、髙山 大綺（3S）、
玉田 章人（3S）

令和６年度全国吟詠コンクール決勝大会

少年の部　優勝　原田 愛子（3C）

大分県民表彰

（全国吟詠コンクール決勝大会 少年の部優勝による大分県からの表彰）

原田 愛子（3C）

大分市長表彰

（全国吟詠コンクール決勝大会 少年の部優勝による大分市からの表彰）

原田 愛子（3C）

学生会便り

体　育　祭

体育局長　５Ｅ　**小出　真叶**

こんにちは。夏休み明けの明野通信に続き、またまた体育局長の小出真叶です。高専祭実行委員長と音楽祭実行委員長は年に一回しか書かなくていいのに、なぜ体育局長だけ二回も書かされるのか、不思議で仕方がありません。前回の明野通信は昨年度局長の文章のマネをして、今回の執筆依頼時に「流石に二回もマネするのはなぁ」と自分の良心に囁かれ、頭を捻ってこの文章を書いています。まぁどんな文章であれ広瀬先生は喜んで読んでくれるでしょう。

さて、今年の体育祭、楽しんでくれたでしょうか？ 今年の体育局の目標は、去年の体育祭を反面教師にして、去年よりみんなが楽しく、充実して、早く帰れる体育祭にすることでした。そのためにできるだけ去年出た不満を解消することを心掛けました。女子競技として棒引きを加え、騎馬戦を復活させ、たまたま綱があったから綱引きをやって。個人的には、去年より満足できる体育祭だったなと思います。実際のとこ、ルールがガバガバだったり、血の気の多い某学科同士の騎馬戦がやんちゃ過ぎたり、僕の準備が甘かったなと反省する点が多々あります。申し訳ない。それでも、体育祭が終わった後に「今年はめっちゃ楽しかったです！」といろんな人に言ってもらえて、体育局長やってよかったなぁと思えました。本当にありがとうございました！

来年の体育局長は神河君です。彼ならきっと、今年の反省を生かし、楽しい楽しい球技大会・体育祭を企画してくれるはずです。乞うご期待!!

高　専　祭

高専祭実行委員長　５Ｅ　**藤原　聖崇**

第59回高専祭実行委員長を務めさせていただいた藤原です。今年の高専祭は如何だったでしょうか？ 今年の高専祭のテーマは「Boost」でした。昨年度から新型コロナウイルスによる来場者の規制が無くなり、一般公開形式での開催が可能になり、今年からは以前の盛り上がりを取り戻していきたいという思いでこのテーマにしました。今年は数年ぶりの雨天での高専祭開催となり、イレギュラーもありましたが、皆さんのご協力のもと無事大成功に終わることができ、思い出に残る高専祭を作り上げることができました。また、今年も昨年と同じく来場者用駐車場を設けることができませんでした。当日雨だったことも相まって、公共交通機関を使ってまで一般の方に来て頂けるのかという不安はありましたが、予想を大きく上回る来場者の方に来て頂けました。

私自身リーダーという立場に立った経験が乏しく、不慣れな部分や行き届いていない部分が多くありました。その度、学生会メンバーや先生方の支えに助けられました。高専祭を作り上げていく中で自分１人では成し得ない部分も多くありました。この高専祭も仲間の協力があってこその成功です。この２年間、実行委員としての活動を通して、支えてくれる仲間の大切さを改めて感じることができました。私が学生会に入った理由は、高専の学生生活の中で何かしら頑張ったことが欲しいという曖昧なものでした。しかし、いざ入って高専祭の責任者という立場に立つと想像以上の仕事と責任があり、きついと感じてしまうことも多々ありました。ですが、学生会でしか、実行委員長という立場でしか味わえない様々な経験ができ、その中で気付かされることも多く自分自身の成長にも繋がったと感じています。最後になりましたが、高専祭の開催に際しご協賛頂きましたスポンサー企業様をはじめ、ご協力頂いた全ての方に厚く御礼申し上げます。来年度の高専祭もよろしくお願い致します!!

音　楽　祭

音楽祭実行委員長　５Ｃ　**庄野　佑衣**

この度は第58回大分高専音楽祭へのご来場、誠にありがとうございました。今年の音楽祭テーマ「彩（いろどり）」には、聴いている全て人の心を彩ることのできる時間にしたいという想いを込めました。吹奏楽部・軽音楽部の演奏、書道部・美術部・写真部の作品展示を堪能してもらえたなら幸いです。

ところで、自分の人生を彩ってきた音楽、沢山あると思います。この曲を聴くと運動会を思い出して燃えてくる、またあるBGMを聴くと懐かしい気持ちになるなど、音楽を聴いて過去の光景を思い出したり、感情が揺さぶられる経験もあると思います。そして、音楽祭の生演奏にはまた格別の魅力があります。それは、なんといっても全身で音の振動を感じられる点です。私自身、音楽祭で演奏を聴くといつもゾワッと鳥肌が立ち圧倒されます。ぜひ非日常の空間を来年の音楽祭でも感じてみてください。

音楽祭の局長を務めるにあたっては、自分の力量不足に心配になったり、想像以上の仕事量に大変だと感じる時もありましたが、来てくださった方の笑顔を見ると開催できて良かったなと思いました。ホルトホールでの開催は、前回情報が乏しく手筈が分からない中でしたが、色々な方のお力添えがあり１年かけて準備をしてくることができました。

最後に、音楽祭運営にご尽力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。来年度の音楽祭は、11/3(月)ホルトホール大分での開催です。第59回音楽祭も、どうぞよろしくお願いいたします。

学生会便り

新学生会長挨拶

新学生会長　４Ｍ　板倉　世成

こんにちは！ 学生会長に就任いたしました板倉世成と申します。まずはここまで応援して頂いた方々に深くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、自分で言うのもあれなんですが私のことを知っているという方はいらっしゃっても、私のことを覚えているという方の大半はかなりの物好きというぐらい私は影の薄めな人間です。そこで、少しだけ私のことを書かせていただきます。大分県に生まれ育ち、中学校で所属していた軟式庭球部では公式戦の勝ち星無し、大分高専に入学してからは親譲りの不器用さで実験・実習で大活躍といったところです。ただ、去年から所属しております学生会では初めてながらも必死についていきました。たった一年の経験ではありますが、その中で見えてきた学生会や行事などの課題・改善点は多くあります。これらを早急に解決し、伸び伸びと学生の皆様が生活できるように努めて参ります。自分語りが長くなりましたが、一年間どうぞお付き合いください。よろしくお願いいたします。

新副会長挨拶

新副会長　３Ｅ　工藤　玲央

皆さんこんにちは、令和７年度学生会副会長に当選しました工藤玲央と申します。趣味は野球観戦で、大のホークスファンです。安く、確実にチケットを手に入れたい方は私にお任せください。さて、先日の学生会選挙では、私の準備不足によりあまり完成度の高い演説をすることは出来ませんでした。しかし、非常に多くの方からのご支持をいただいたことをこの場を借りて感謝申し上げます。演説では二つの公約についてお話ししましたが、もちろん、他にも学校をより良くするための活動を行っていきたいと考えています。ですが、そのためには約五十人の学生会役員だけではなく、学生全員の協力が不可欠です。来年度の学生会は、一つの大きな目標として「学生会の透明化」を掲げています。学生会を身近に感じて、皆さんの考えをより取り入れやすい環境を作っていきますので、意見をたくさん聞かせてください。そして私自身も副会長としての職務を全うし、全力で大分高専を盛り上げていきます。一年間よろしくお願いします！

留学生の声

高専生活を振り返って
５Ｍ　イルファン

昨日大分高専に来たばかりのように感じますが、今年の春には卒業し、大学へ進学します。日本での留学生活は、私の考え方や行動をより良い方向に変えてくれました。この３年間は決して簡単ではありませんでしたが、周囲の支えのおかげで乗り越えられました。

大分高専に到着する前、新型コロナウイルスの影響でマレーシアからオンライン授業を受けることになり、日本語の上達が難しかったです。それでも、先生方や職員の皆さんの支えで準備を整えられました。特に担任の広瀬裕美子先生には、日々のサポートに心から感謝しています。また、クラスメートたちは私の日本語が不十分な中でも、親身に接し、多くの楽しい経験を共有してくれました。その中でも中野哲志さんには勉強を助けてもらい、渡辺和志さんには日本語のユニークな表現を教えてもらい、多くを学びました。

職員の方々も生活や大学出願を支えてくださり、安心して学ぶことができました。この学校での経験と人々の支えに感謝し、これからも頑張りたいと思います。

大分高専での留学生活を通じて
５Ｅ　シオン

大分高専での留学生活を振り返ると、本当に多くのことを学び、成長することができました。

留学を決意した当初は、不安や期待が入り混じっていましたが、日々の学びや経験を重ねる中で、それが自信へと変わっていきました。正直なところ、すべてが順調だったわけではなく、大変なこともたくさんありましたが、そのたびに先生方や友人たちが支えてくれたおかげで、乗り越えることができました。特に就職活動では、担任の先生に大変お世話になりました。履歴書の添削や面接の練習など、細やかにサポートしてくださり、そのおかげで無事に希望していた企業に内定をいただくことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、学業だけでなく、高専祭や部活動、日常の何気ないやり取りの中でも、多くの思い出や貴重な経験を得ることができました。これらはすべて、私にとって一生の宝物です。卒業後は、ここで学んだ知識や経験を糧に、社会に貢献できるよう全力で努力していきます。心からありがとうございました。

高専の３年間
５Ｓ　ジョハン

大分高専に来てから気づいたら、もう３年間が経っていたのを実感できません。この３年間にありがとう。

クラスメートの皆さん（二人のあなたたち、誰だか分かるでしょう）、この３年間ずっとお手本となってくれてありがとう。皆さんのこれからの学業が最良のものであることを願っています。私はいつもあなたたちのことを心に抱いていきます。

日本語の先生方にありがとう。もしあなたたちがいなければ、私はこれらの言葉を書くことができませんでした。あなたたちの優しく温かい言葉で日本文化を学べて、とても楽しかったです。この間、まるで親しい友達と話しているかのように感じました。

柔道部にありがとう。特に川内谷先生にありがとうと言いたい。限界を超えて諦めず、弱い自分に負けないよう教えてくださってありがとう。黒帯には、先生の親切な励ましの言葉や、決して消えない知恵が込められています。

高専のすべての先生方にありがとう。大分高専で学んだプロフェッショナリズムと優しさのバランスは、私がずっと忘れないものです。

この３年間は本当に素晴らしい旅でした。心の底からありがとう。

寮生会便り

寮生会長　４Ｃ　前橋　尚幸

みなさんこんにちはこんばんわおはようございます。新しく寮生会長になりました、前橋尚幸です。私が寮生会長になった理由は二つあります。一つは今よりもよりよい寮を作りたいと思ったからです。もう一つは人気になれると思ったからです。私が寮生会長になってやりたいことが二つありました。一つは挨拶運動の実施です。毎朝6：00～8：00までの間各寮の玄関にその寮の指導寮生を立たせて挨拶をさせます。そうすることで寮全体の挨拶への意識が大きく変わると思います。それと前行っていたラジオ体操も復活させたいですね。もう一つは寮の門限を21：00にしてあと新しく消灯時間を設けましょう。そうすることで健康的な生活を送ることができるでしょう。最近の寮生は挨拶が少なくなってきていると思います。挨拶は徹底して自分からしましょう。初めての寮生会長は不安ですが一生懸命頑張ります。

副寮生会長　３Ｍ　渡邉　大貴

皆さんこんにちは‼　副寮生会長の渡邉大貴です。就任してから数か月が経ち2024年も終わりを迎えようとしていますが、思ってたよりも副会長としての仕事が少なくて良かったです。というのも正直、３年の後期から勉強面がめっちゃ辛いです。ついに“高専生活がスタートしたんだな”と実感してます。レポートの量も増えるし、考えなければならない事も増えるし、本当に先輩方には頭が上がりません。さて、おそらくこれから副会長、会長と務めさせていただくと思います。なので、今年度は責任を持って、先輩方の姿をよく見て・聞いて学んでいきます。そして蓄えた経験を生かしてイベント事、日々の生活をより良いものにして、誰もが快適に過ごすことのできる寮を築いていきます。そのためにも、まずは挨拶をしっかりして、印象に残れたならなと思ってます。至らない点もあると思いますが、どうぞよろしくお願いします‼

１寮長　４Ｓ　首藤　桃音

女子寮寮長を務めさせていただいております、４年情報工学科の首藤桃音と申します。将来のために何か挑戦してみたいと思い、この度寮長をお引き受けすることとなりました。女子寮は、他の寮とは異なり全学年の学生が集まる場です。そのため、学年を超えた縦のつながりを大切にし、皆さんがより充実した寮生活を送れるよう努めていきたいと思っています。また、寮生活や学校生活で悩みを抱えることもあるかもしれません。そんな時は、私や指導寮生にぜひ気軽に相談してください。皆さんが穏やかな日常を送れるよう、全力でサポートさせていただきます。

まだまだ頼りないと感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、寮長としての経験を通じて少しずつ成長し、堂々とした人間になれるよう努力してまいります。１年間、どうぞよろしくお願いいたします。

２寮長　４Ｓ　緒方　詩惟

皆さんこんにちわ。２寮長の緒方です。今年度もあと少しで終わってしまいますね。前期には三大祭もあって、あっという間だったと感じる人も少なくないと思います。さて、２寮についてですが、前期も終わりに近づき１年生もだんだん寮生活に慣れてきたように感じます。また、学科の壁を越えた関係も少しずつ築けてきているようで、毎晩楽しそうな声がいろんな部屋から聞こえてきます。今一緒に遊んでいる友人は、短くても５年は生活を共にする人です。５年も一緒にいればほぼ家族みたいになってきます。そんな存在は学校だけではそうそうできるものではありません。寮とは、そんな特別な存在ができる場所なんだと思います。みんながそう思える場所にできるように、ルールはしっかりと守り、今ある課題を一つずつ無くしていけるように１年生たちを支えていきたいと考えています。

３寮長　４Ｃ　大海　應介

こんにちは。３寮長の大海應介です。３寮では主に２年生が生活しています。２年生は入寮してから１年以上経ち、寮生活にも慣れてきたかと思います。この時期に、日々の挨拶や整理整頓などを習慣化することが大切だと思います。また、せっかくの寮生活であるため、学科・学年の壁を越えた交流も増やしていってほしいと思います。今までと比べて寮での活動や行事が活発になってきているので、積極的に参加して楽しんでほしいです。私も至らない点が多いと思いますがよろしくお願いします。

４寮長　４Ｍ　陣林　岳和

こんにちは。４寮長を担当している陣林岳和です。４寮では主に２年生と３年生、数人の指導寮生が生活しています。４寮の現状として、２年生は入寮し１年がたち寮生活も慣れたことか元気がよくいい意味でうるさくなっています。対して３年生は若干高学年になったためか非常に落ち着いています、とはならず相変わらず引き続いており、４寮はどちゃんこ騒ぎになっています。

そんななかでも、４寮では特に日々の挨拶をすることを目標にしています。以前から明野寮全体でも挨拶は重視されていますが、現状全寮生ができてはいません。その状況であるからこそ、まずは４寮生が先輩、後輩関係なく率先して挨拶をすることで、寮全体がよりよい環境になると考えており、それができるのは元気のある４寮生であると自負しています。また寮長自らが後輩の手本となるような姿をみせていきたいと思います。よろしくお願いします。

５寮長　５Ｃ　野澤　亮冴

こんにちは。５寮長の５年都市・環境工学科の野澤亮冴です。新入生もこの生活に慣れてきた頃でしょう。また、上級生も仲間たちとの寮生活を楽しんでいることだと思います。

私個人としては、友達と過ごした５年間の寮生活の終わりが近づいていることが寂しいです。１年生の頃から楽しい思い出ばかり記憶に残っています。私が入学してから色んな人に支えてきてもらったように、今の下級生には快適な寮生活を送るための手助けができればいいなと思います。卒業までの残り少ない時間ですがよろしくお願いします。

令和６年度　学科別進路状況

令和７年１月28日現在

	就職先	学科名 M	E	S	C	計
1	株式会社AXSEED			1		1
2	株式会社インフォコム西日本			1		1
3	株式会社エイト日本技術開発				1	1
4	ANAラインメンテナンステクニクス株式会社		1			1
5	SCSKニアショアシステムズ株式会社			1		1
6	エスティケイテクノロジー株式会社	1	1	1		3
7	株式会社エヌ･ティ･ティピー･シーコミュニケーションズ		1			1
8	ENEOS株式会社	1				1
9	株式会社オーイーシー		1			1
10	大分キヤノン株式会社			1		1
11	オムロンフィールドエンジニアリング株式会社	1				1
12	オリエンタル白石株式会社				1	1
13	株式会社オリジナルマインド	1				1
14	オリックス・ファシリティーズ株式会社		1			1
15	株式会社カシフジ	1				1
16	鹿島建設株式会社		1			1
17	株式会社カンセツ	2				2
18	基礎地盤コンサルタンツ株式会社				1	1
19	九州建設コンサルタント株式会社				1	1
20	九州電力株式会社		1			1
21	Qsol株式会社			1		1
22	京セラ株式会社	1	1			2
23	極東興和株式会社				1	1
24	株式会社建設環境研究所				1	1
25	コニカミノルタジャパン株式会社			1		1
26	コベルコソフトサービス株式会社			1		1
27	株式会社小松製作所	1				1
28	佐伯市				2	2
29	佐藤工業株式会社				1	1
30	サントリープロダクツ株式会社		1			1
31	JX金属株式会社				1	1
32	JX金属製錬株式会社		1			1
33	株式会社JERA		1			1
34	シビックアーツコンサルタント株式会社				1	1
35	株式会社シマノ	1				1
36	Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社		1			1
37	株式会社ジャパンセミコンダクター	1				1
38	ショーボンド建設株式会社				1	1
39	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社		1			1
40	大成建設株式会社				1	1
41	大和製罐株式会社	1				1
42	株式会社タダノ	1				1
43	株式会社椿本チエイン	1				1
44	株式会社ディアイティ			1		1
45	株式会社ディスコ	1				1
46	株式会社デンケン			1		1
47	東海旅客鉄道株式会社	1				1
48	東京ガスネットワーク株式会社		1			1
49	東京電力ホールディングス株式会社		1			1
50	株式会社トヨタシステムズ		1			1
51	西日本旅客鉄道株式会社	1	1			2
52	西松建設株式会社				1	1
53	株式会社日建技術コンサルタント				1	1
54	株式会社日水コン				1	1
55	日鉄ケミカル＆マテリアル株式会社	1				1
56	日鉄テックスエンジ株式会社				1	1
57	日鉄パイプライン＆エンジニアリング株式会社				1	1
58	日本製鉄株式会社	1			1	2
59	日本アルゴリズム株式会社			1		1
60	パーソルクロステクノロジー株式会社			1		1
61	パナソニックインダストリー株式会社		1			1
62	平田機工株式会社	1				1
63	株式会社FIXER			1		1
64	豊後大野市				1	1
65	株式会社牧野フライス製作所	1				1
66	三菱重工機械システム株式会社	1				1
67	三菱電機株式会社		1			1
68	三菱電機エンジニアリング株式会社		1			1
69	株式会社メイテックフィルダーズ	1				1
70	株式会社明電舎		1			1
71	安川オートメーション・ドライブ株式会社		1	1		2
72	株式会社LIXIL	1				1
73	ルネサスエレクトロニクス株式会社		1			1
74	自営業				1	1
	就職者計	24	23	14	21	82

	進学先	M	E	S	C	計
1	大分工業高等専門学校(専攻科)	7	5	6	8	26
2	大分工業高等専門学校(専攻科)九大連携教育プログラム		1			1
3	大島商船高等専門学校(専攻科)			2		2
4	広島商船高等専門学校(専攻科)			1		1
5	大分大学	1			1	2
6	大阪大学		1			1
7	九州工業大学		1	2	1	4
8	九州大学	2			1	3
9	京都工芸繊維大学			1		1
10	熊本大学	4	2	2		8
11	高知大学			1		1
12	千葉大学		1	1		2
13	豊橋技術科学大学		1	1	1	3
14	奈良女子大学			1		1
15	宮崎大学				1	1
	進学者計	14	12	18	13	57
	未定	1	2	4	3	10
	合計	39	37	36	37	149

M：機械工学科　E：電気電子工学科　S：情報工学科　C：都市・環境工学科

令和６年度　専攻科進路状況

令和７年１月28日現在

第21期：令和６年度(2024年)修了予定者(31人)

機械・環境システム工学専攻（20人）	電気電子情報工学専攻（11人）
九州工業大学大学院 九州大学大学院（２名） 豊橋技術科学大学大学院 旭化成株式会社 麻生商事株式会社 株式会社エイト日本技術開発 大分県（３名） 株式会社大阪防水建設社 鹿島建設株式会社 カワダロボティクス株式会社 九州旅客鉄道株式会社 株式会社ジーエス・ユアサコーポレーション Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社（２名） TOPPAN株式会社 西日本電線株式会社 専門学校	九州大学大学院（２名） 熊本大学大学院 筑波大学大学院 奈良先端科学技術大学院大学（３名） エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 日本アルゴリズム株式会社 株式会社ルイーダ

行事予定 Event Calendar 2025

2025年(令和７年)２月現在

４月 April

１日㈫～３日㈭　春季休業
３日㈭　開寮
４日㈮　入学式・編入学式、入寮式(寮生活説明会)
７日㈪　始業式・対面式(本科)、健康診断(専攻科)
８日㈫　授業開始
９日㈬　４年教育プログラム説明会
11日㈮　健康診断(２～４年)(本科)
11日㈮～12日㈯　新入生オリエンテーション
22日㈫　開校記念日

５月 May

10日㈯　個別面談、後援会総会・保護者会
15日㈭　１年生健康診断(本科)
16日㈮　保護者授業参観日
21日㈬　球技大会

６月 June

12日㈭～18日㈬　前期中間試験(本科)
25日㈬　１年生リーディングスキルテスト(本科)
25日㈬　特別研究Ⅱ中間発表会(専攻科)

７月 July

４日㈮～　九州地区高専大会
５日㈯　オープンキャンパス
30日㈬～８月５日㈫　前期末試験

８月 August

８日㈮　閉寮
12日㈫～９月21日㈰　夏季休業
８月下旬～　全国高等専門学校体育大会

９月 September

21日㈰　開寮
22日㈪　HR(全学年登校日)、高専大会等報告会(本科)、学会表彰等(専攻科)
24日㈬～　４年研修旅行、２年教養旅行、３年校外研修
28日㈰　オープンキャンパス

※行事予定については、変更になる可能性もありますので、最新の予定一覧（本校公式 Web に掲載）をご確認下さい。

明野通信 vol.139
【発行】大分工業高等専門学校　図書館運営委員会　2025年(令和７年)２月10日